

お客様各位

日頃は格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、弊社より刊行いたしました「心臓電気生理学エッセンス：自己評価問題付き」（2012年3月9日発行）におきまして、下記の通り誤りがございましたので、訂正のご連絡を申し上げますとともに、多大なるご迷惑をおかけ致しましたこと深くお詫び申し上げます。

＜心臓電気生理学エッセンス：自己評価問題付き 第1版1刷 正誤表＞

**\*赤字は特に重要な訂正事項**

頁	行	訂正内容（訂正前 → 訂正後）
vi	11	7.9 原因不明の心室性不整脈 → 7.9 分類不能の心室不整脈
11	28	(追加：翻訳漏れ) 薬剤が結合部位から解離するためには活性化化する必要がある。
12	29	--- ナトリウム電流 8, 10-11 → --- ナトリウム電流 8, 10-12
16	23	iv 膜内側に存在している --- → iv 内部（小胞体）の膜に存在している ---
22	4	C $I_{Ca}$ → C $I_{Ca}$ (大文字 L を小文字 l にする：下付け)
31	19	--- AP の 4 相を起こす。 → --- AP の 4 相（自動脱分極）を起こす。
31	29	その変化はプラトー相 --- → その僅かな変化はプラトー相 ---
47	17	--- 診断的特長 --- → 診断的特徴 ---
49	11	SND の心電図的特長 → SND の心電図的特徴
52	17	--- 非典型的順番の PR RR 延長の機序 --- → 非典型的な順序で PR RR が延長する機序 ---
58	8	C 多源性心室頻拍 → C 多形性心室頻拍
62	3	B 二重 AN 結節生理特性 --- → B 二重 AV 結節生理特性 ---
65	6	5.6 房室結節リエントリー性頻拍 (AVRT) → 5.6 房室リエントリー性 (回帰性) 頻拍 (AVRT)
65	18	--- 最後の波型は --- → 最後の波形は ---
66	25	逆行性頻拍の存在 --- → 逆方向性頻拍の存在 ---
66	31	11 幅広い複合波の頻拍時, → 11 幅広い QRS の頻拍時,
68	9	--- CS の隣接 (2 mm) 部から記録 --- → --- CS から隣接的 (2 mm) に記録された ---
72	11	典型的心房細動では 12 誘導 --- → 典型的心房粗動では 12 誘導 ---
76	6	時には非峽部依存性の → 時には峽部非依存性の
79	15	--- 多極電極マッピング法か --- → --- 多電極マッピング法か ---
80	26	--- 非峽部依存性の AT --- → --- 峽部非依存性の AT ---
82	図 5.8	P 波開始 200 ミリ秒の電位図。 → P 波開始まで 200 ミリ秒の電位図。
84	20	--- ことがある。 <sup>6</sup> → --- ことがある。(文献番号なし)
92	30	心房治療機能付き除細動器は --- → 心房不整脈治療機能付き除細動器は ---
93	17	--- AH 遅延を伴わない。 → --- 重篤な AH 遅延を伴わない。
99	19-20	--- 10 ミリ秒先行刺激する。 → --- 10 ミリ秒ずつ先行して刺激する。
112	図 5.21	Postcro-septal → Postero-septal

頁	行	訂正内容 (訂正前 → 訂正後)
113	5	--- 緩徐伝導路を介して --- → 緩徐伝導路を介して ---
113	7	--- 緩徐伝導路を介して --- → 緩徐伝導路を介して ---
116	27	4. 心内膜マッピングのため --- → 4. 心外膜マッピングのため ---
143	1	7.9 原因不明の心室性不整脈 → 7.9 分類不能の心室不整脈
178	6	--- 1 相の立ち上がり電位を --- → 1 相の開始電位を ---
180	4-5	ピルシカイニド → ピルジカイニド
181	3	急性心外膜炎 → 急性心膜炎
186	11	左主冠動脈障害 --- → 左冠動脈主幹部障害 ---
186	14	左主冠動脈入口部 --- → 左冠動脈主幹部入口部 ---
189	1	--- 考えられる。 → --- 考えられる。
191	18	心内心電図では --- → 心内電位図では ---
193	29	HA 時間は洞調律時より --- → HV 時間は洞調律時より ---
203	25	--- 陽性予測値 → --- 陽性適中率
206	2	--- 長く脱分極するために --- → --- 長く脱分極がかかるために ---
209	6	EF 低値の患者でにおいて --- → EF 低値の患者において ---
216	表 9.1	[6 段目] (Kearna-Sayre, KS) → (Kearna-Sayer, KS)
217	13	Guillan-Barre 症候群 → Guillain-Barré 症候群 (i を入れ、e は é にする)
222	17	右側前胸部誘導での --- → 右前胸部誘導での ---
223	16	--- 予測率は低い。 → --- 適中率は低い。
223	23	--- 予測的中率が低い。 → --- 適中率が低い。
225	1-2	--- どうかによって影響を受ける --- → --- どうかによって治療に影響を受ける ---
226	表 10.2	[6 段目] プロキセチン → パロキセチン
241	18	$I_{Kr}$ 遮断作用のある薬剤は、 → $I_{Kr}$ 遮断作用のある薬剤の効果は、
245	27	ドフェチリド → ドフェチリド (日本国内未承認)
251	14	--- 徐脈と出口ブロックを --- → 徐脈と進出ブロックを ---
256	9	波形のウェーブチルト → 波形の間隔 (時間)
257	20	これは電気形性孔 --- → これは電気形成孔 ---
265	12	--- パースメーカポケット --- → --- ペースメーカポケット ---
267	26	基本周期の一泊毎の --- → 基本周期の一拍毎の ---
276	右 25-26 間	(空白) → 1 A (解答を挿入する)
277	右 1	7.9 その他の VT → 7.9 分類不能の心室不整脈
277	右 3	SCD → SCD とリスク層別化
277	右 5	神経筋疾患における不整脈 → 神経筋疾患患者における不整脈
278	図 5.8	P 波開始 200 ミリ秒の電位図。 → P 波開始まで 200 ミリ秒の電位図。

お問い合わせ先

WILEY-BLACKWELL

ワイリー・パブリッシング・ジャパン株式会社

コーポレートセールス部

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-28-1 フロンティア小石川 4F

03-3830-1239 (部門代表)